

2024年3月期

第 1 四半期決算説明資料

アオイ電子株式会社

2023年7月28日

本資料の取り扱いについて 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものでありリスクや不確定要因を含みます。実際の業績や結果は、市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

会社の概要

- 商号 アオイ電子株式会社
AOI ELECTRONICS CO.,LTD.
- 設立 1969年（昭和44年）2月1日
- 本社所在地 香川県高松市香西南町455-1
- 代表者 取締役社長 木下 和洋
- 資本金 45億4,550万円
- 発行済株式総数 12,000千株
- 生産品目 IC、モジュール、サーマルプリントヘッド、センサー など
- グループ従業員数 2,209名（6月末現在）
- 工場 高松工場（香川県高松市）
観音寺工場（香川県観音寺市）
朝日町事業所（香川県高松市）
- 営業所 東京営業所（東京都港区港南）
- 子会社 ハヤマ工業(株)（香川県高松市）
ハイクォーター青森(株)（青森県鶴田町）
青梅エレクトロニクス(株)（東京都青梅市）
- 持分法適用関連会社
(株)ヴィーネックス（香川県観音寺市）

■ 本社および工場 所在地



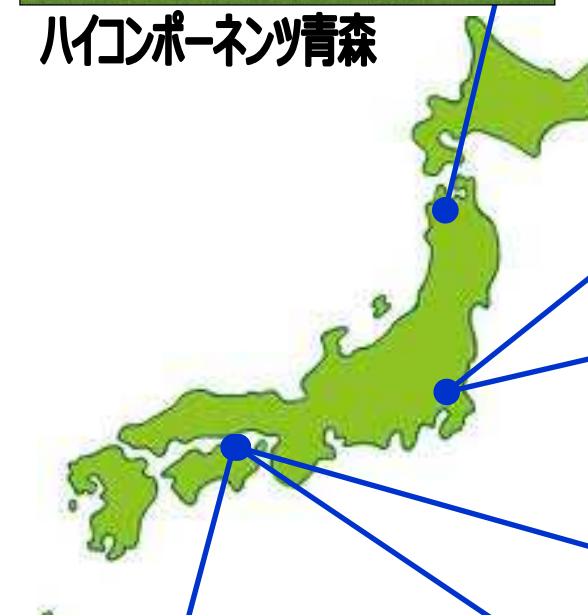
ハイクォーター青森



東京営業所



青梅エレクトロニクス



観音寺工場



本社・高松工場

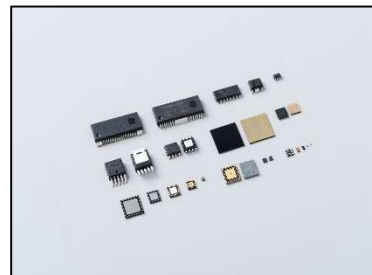


朝日町事業所
ハヤマ工業

主な事業内容 (2023年6月期売上高構成比率)

● 集積回路部門 (88.6%)

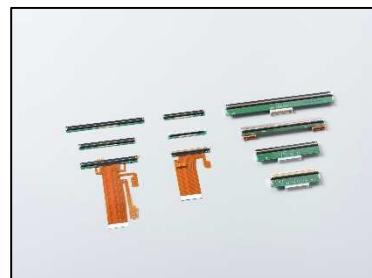
- IC、光学センサー、LED等の半導体の後工程の受託製造



大手系列に属さない独立企業で、組立・テスト・テーピングの一貫生産可能。
生産設備の内製化により、生産性向上や投資コスト低減

● 機能部品部門 (11.4%)

- サーマルプリントヘッド等の製造、
各種センサーの受託製造



● その他 (0.0%)

ICのできるまで (概略工程フロー図)

アオイ電子

前工程

拡散

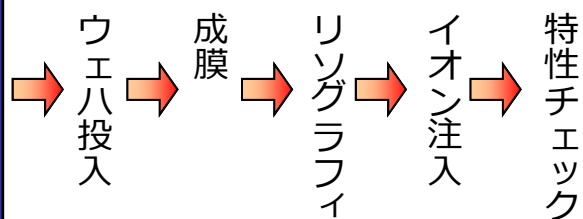
検査

後工程

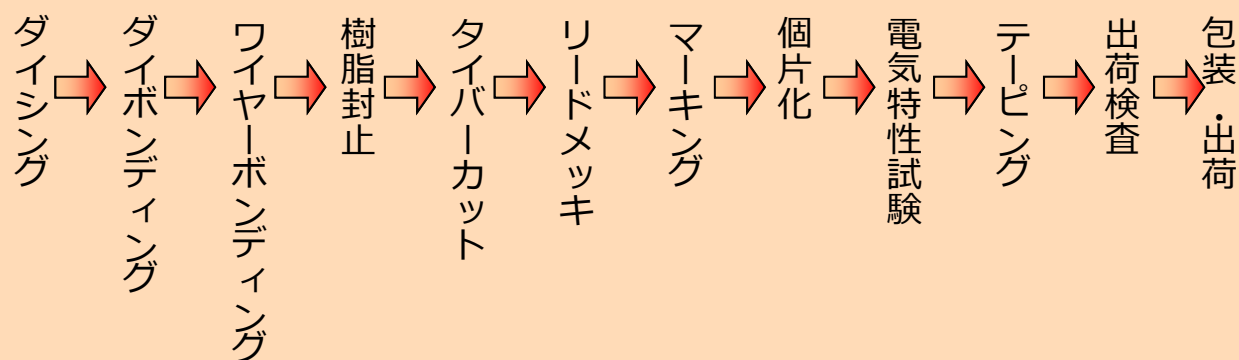
組立

検査・出荷

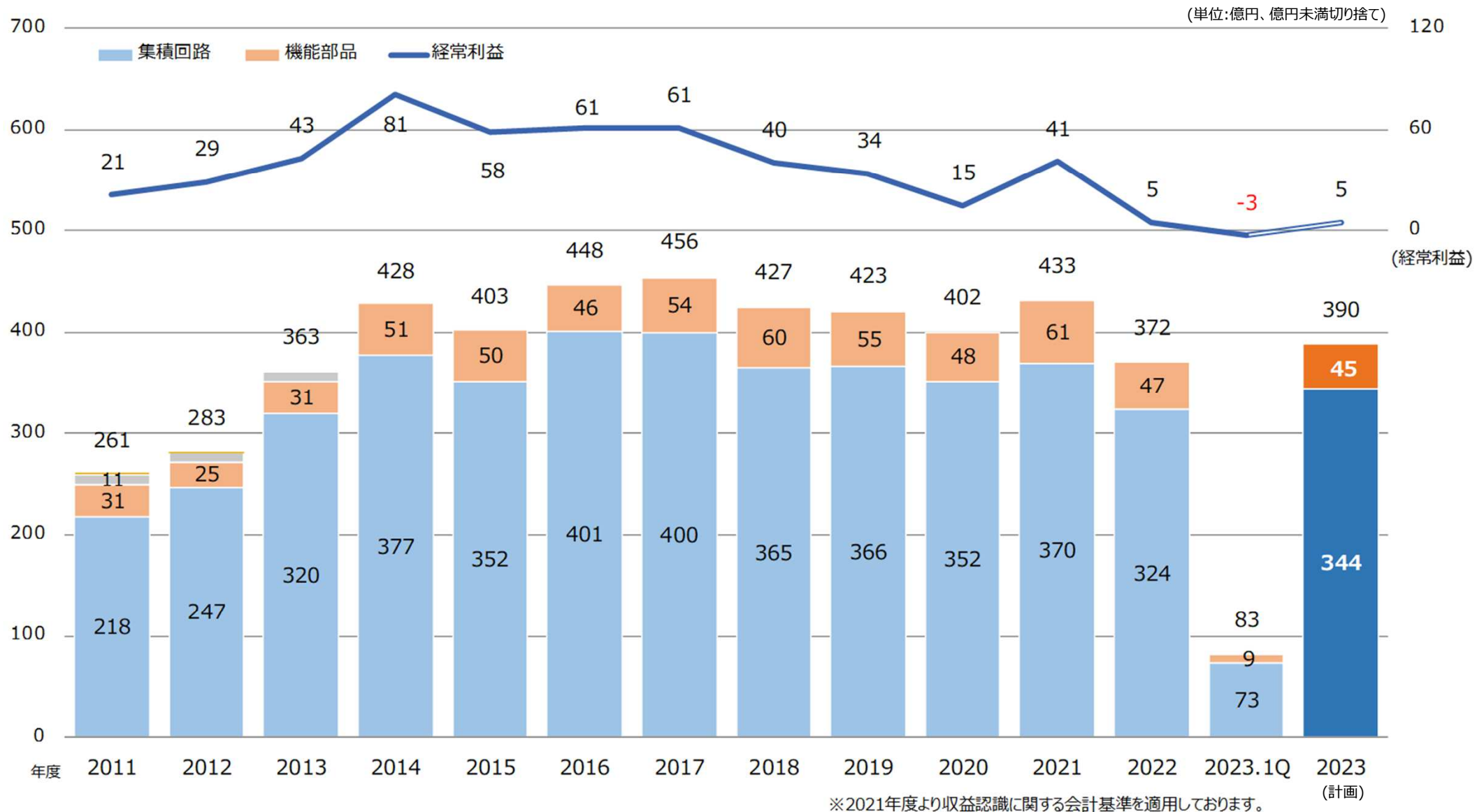
設計



ウェハは
有償、無償受入あり



連結業績推移(売上高、経常利益推移)



当期連結業績の概況

(売上高)受注調整局面の長期化を背景に携帯情報端末向け部品の受注が減少、一部製品の生産終結および海外向けサーマルプリントヘッドの受注低迷。

(営業利益)労務費および消耗品費等減少するも電力料、原材料の価格高騰。

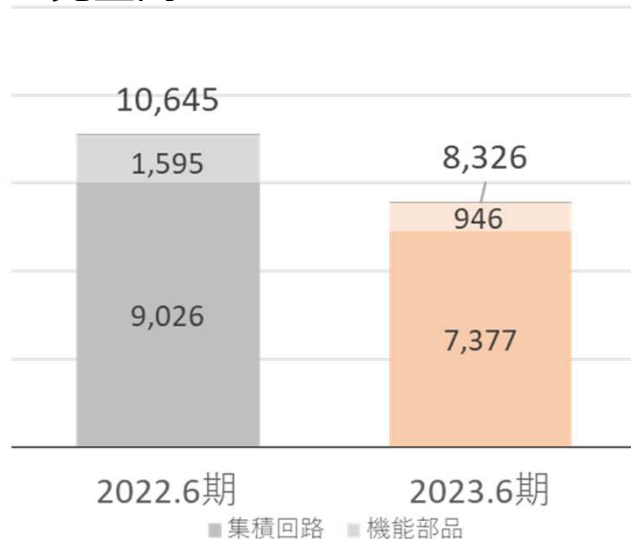
(経常利益)支払補償費が増加するも為替差益などの営業外収益の計上。

	2022年6月期 (実績)	2023年6月期 (実績)	前四半期比	2024年3月期 (計画)	(単位:百万円、 百万円未満切り捨て) 進捗率
売上高	10,645	8,326	-21.8%	39,000	21.3%
売上総利益	1,913	590	-69.1%	—	—
売上総利益率	18.0%	7.1%	—	—	—
営業利益	796	-431	—	500	—
営業利益率	7.5%	-5.2%	—	1.3%	—
経常利益	990	-323	—	500	—
経常利益率	9.3%	-3.9%	—	1.3%	—
当期利益	699	-369	—	350	—
当期利益率	6.6%	-4.4%	—	0.9%	—

連結売上高推移

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

売上高



連結売上高は、8,326百万円（前年同期比2,319百万円減、21.8%減）

集積回路は、7,377百万円（前年同期比1,649百万円増、18.3%減）

・需給調整局面の長期化を背景に携帯情報端末向け部品の受注が減少

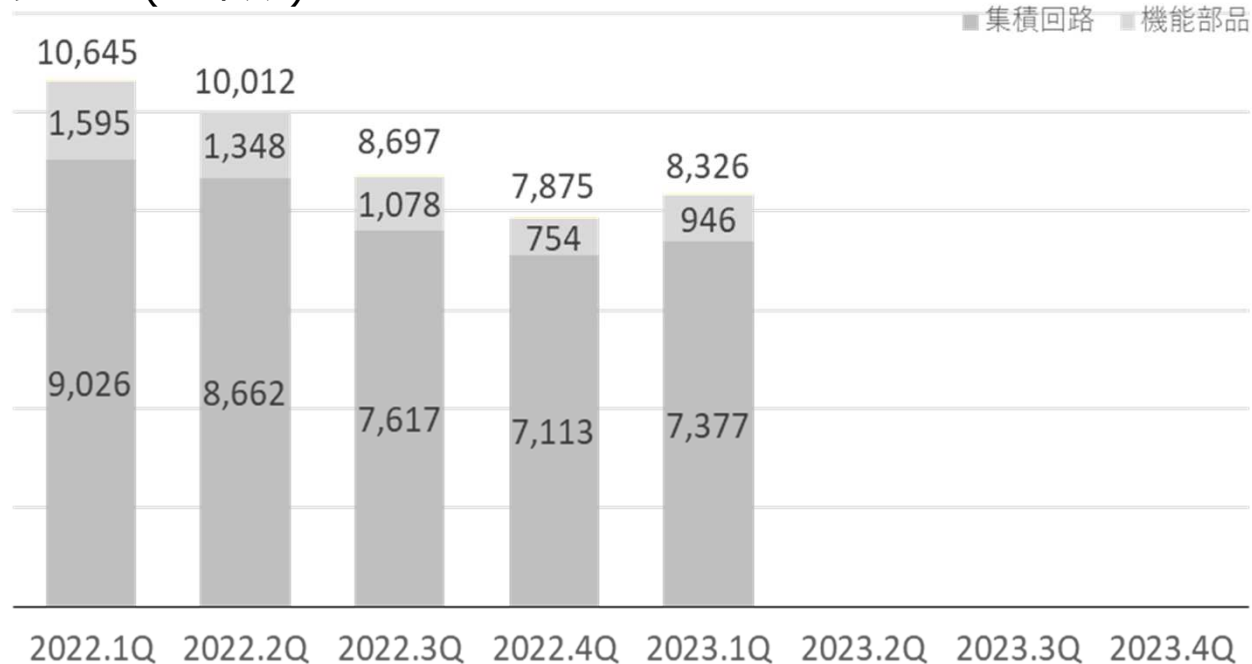
機能部品は、946百万円（前年同期比648百万円減、40.7%減）

・一部製品の生産終了および海外向けサーマルプリントヘッドの受注低迷

地域別売上高

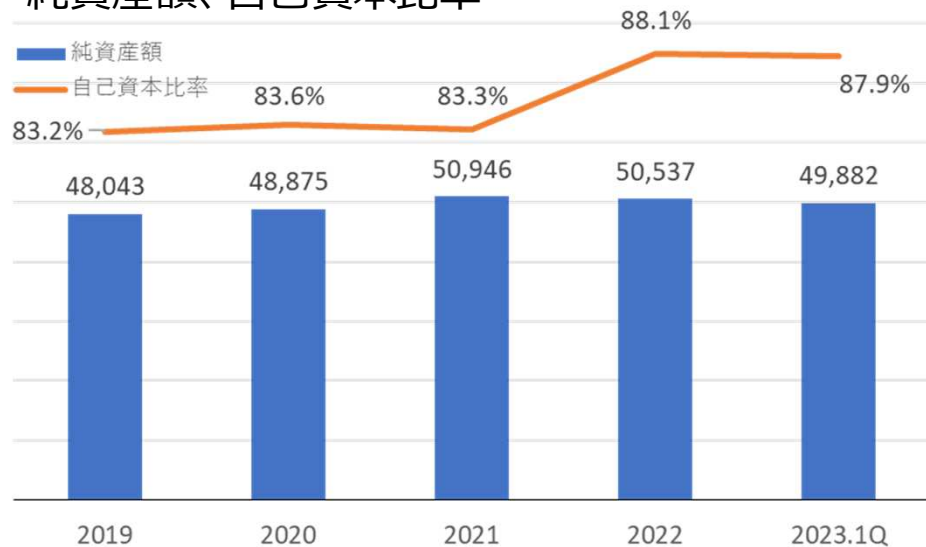


売上高(四半期)



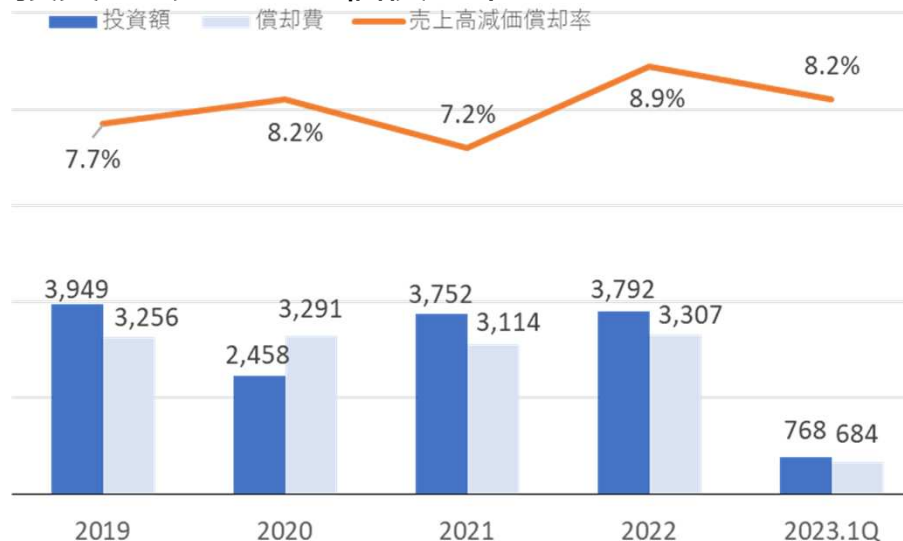
連結財務指標

純資産額、自己資本比率

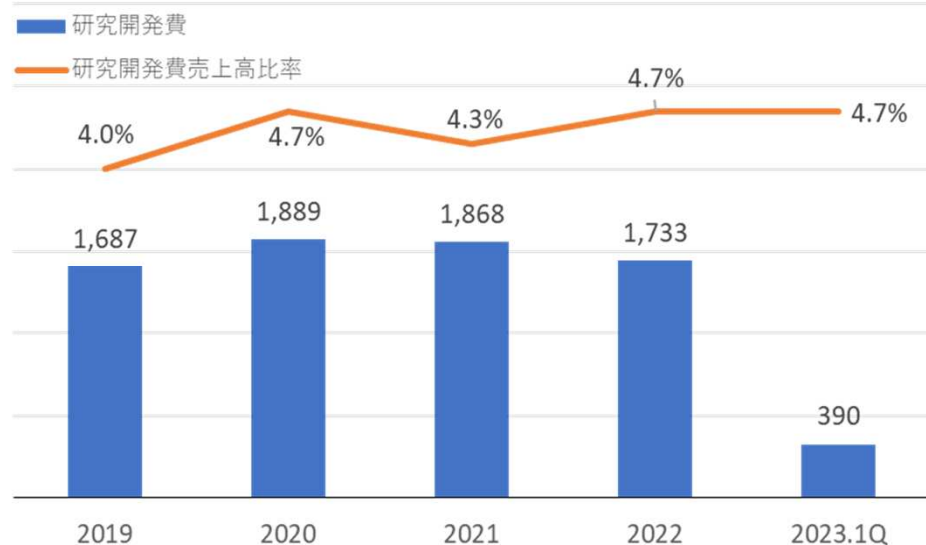


投資額、売上高減価償却率

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)



研究開発費、研究開発費売上高比率



有利子負債比率

